desknet's NEO

デスクネッツ　ネオ

かんたん操作マニュアル【管理者編】

ウェブメールIMAP

desknet's NEO V7.5対応版

NEOJAPAN

© NEOJAPAN Inc.

ウェブメールIMAP目次

1. ウェブメールIMAPの管理者メニュー
2. ウェブメールIMAPの機能管理者を設定する
3. メールサーバーを設定する
4. 各ユーザーの保存容量を設定する
5. メールのダウンロードを制限する
6. ウェブメールの共通設定を設定する
7. 誤送信防止機能を設定する
8. ディレクトリサービス設定を行う
9. 各ユーザーのメールアカウントを設定する
10. アカウント情報のインポート/エクスポートを行う

ウェブメールIMAP機能とは･･･
IMAPプロトコルに対応した電子メールの送受信機能になります。
メールデータは全てIMAPメールサーバー側に保管され、desknet's NEOサーバー上には メールデータは蓄積しません。
メール作成時にディレクトリサービスの情報を検索し宛先を指定することもできます。

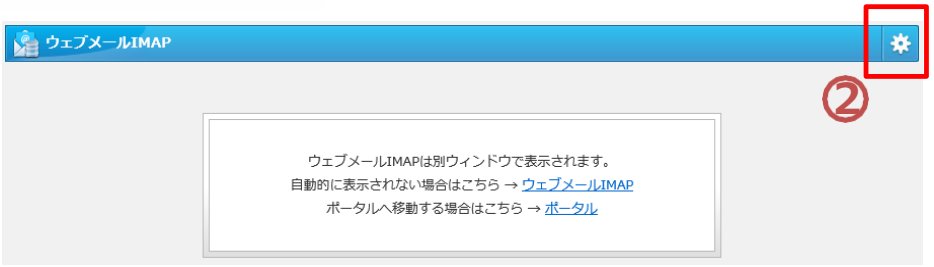
© NEOJAPAN Inc.

1. ウェブメールIMAP管理者設定メニュー

① [ウェブメールIMAP]をクリックすると、ウェブメールIMAP画面が**別ウィンドウ**で表示されます。

※ブラウザのポップアップブロック機能によりブロックされる場合がありますのでブラウザの設定にてポップアップを許可してください。

② ウェブメールIMAPの管理者設定メニューは元の画面の右上の歯車アイコンをクリックすると表 示されます。



管理者設定メニュー
次ページ

別ウインドウ

2. ウェブメールIMAP管理者設定メニュー

システム管理者またはウェブメールの機能管理者でウェブメールIMAP機能を開き、右上の歯車アイコンをクリックすると、管理者の設定メニューが表示されます。
※ウェブメールIMAP画面（メール一覧）ではなく、元のdesknet's NEOの画面となります。

▼【機能管理】
アカウント設定

▼【システム管理】
設定状況
共通設定
管理者設定
メールサーバー設定
メールダウンロード設定
ディレクトリサービス設定

【誤送信防止】
誤送信防止設定
送信先ホワイトリスト設定

※機能管理者

※システム管理者

※【システム管理】はシステム管理者のみ設定可、
【機能管理】はシステム管理者及び機能管理者のみ設定可。

© NEOJAPAN Inc.

3. ウェブメールIMAPの機能管理者を設定する

ウェブメールIMAP機能の機能管理者を設定します。

■[システム管理]＞[管理者設定]

機能管理者としてウェブメールIMAP機能内でシステム管理者と同権限を付与することができます。

設定はユーザー単位又はロール単位に付与できます。

機能管理者はウェブメールIMAPの各ユーザーのアカウント設定の管理が行えます。

4. メールサーバーを設定する

ウェブメールIMAP機能で使用するメールサーバを設定します。

■[システム管理]>[メールサーバー設定]

■受信メールサーバー(IMAP)
受信メールサーバー名、ポート番号、通信の保護を入力します。

■送信メールサーバー(SMTP)
送信メールサーバー名、ポート番号、通信の保護を入力します。

■メール送信時の認証
認証なしか、SMTP認証、XOAUTH2認証から選択ができます。
※XOAUTH2認証について
https://faq.desknets.com/--631e9e8b98af07001d25a31e

■サーバタイムアウト
メールサーバーへのログオンの失敗を何秒まで待機するかの設定。

■ルートフォルダ
■送信トレイフォルダ名
■ゴミ箱フォルダ名
■下書きフォルダ名
ご利用のIMAPメールサーバーでのフォルダ情報を設定します。

■メール一覧の取得方法
SORTコマンドの使用有無を設定します。
※通常はチェックを外してご利用ください。

© NEOJAPAN Inc.

5. メールのダウンロードを制限する

メールデータをクライアントPCにダウンロード保存することができ、そのダウンロード機能を制限します。

※全ユーザーが対象となります。

■ダウンロード機能
ユーザーにダウンロード機能を使用させるかしないかを設定します。

■メールの総サイズ
1回のダウンロードで可能な合計サイズを設定します。※1～1024の値を入力してください。

■メールの総数
1回のダウンロードで可能なメールの総件数を設定します。※1～1000の値を入力してください。

■[システム管理]＞[メールダウンロード設定]

6. ウェブメールIMAPの共通設定を設定する（1/3）

ウェブメールIMAP機能の共通設定を行います。
ユーザーの個人設定の初期値も設定します。

■メール画面のレイアウト
ウェブメール画面のレイアウトを設定します。
・3ペイン（本文プレビューあり）
・2ペイン（本文プレビューなし）

■本文表示文字数
メール参照画面に表示する本文の文字数を設定します。
※スパムメール対策として3万文字又は5万文 字の設定を推奨します。

■HTMLメールの表示方法
受信したHTMLメールを本文に表示するか、添付ファイルとして表示するかを設定します。

■既読にする条件
メールを既読にする条件を設定します。
チェックをすると、プレビュー画面にて最終行を表示したときに既読になります。
秒数を入力すると、メールを表示してから入力した時間が経つと自動で既読になります。

■署名の挿入位置
メールの署名を本文の先頭または末尾に挿入するかを設定します。

■[システム管理]＞[共通設定]

6. ウェブメールIMAPの共通設定を設定する（2/3）

ウェブメールIMAP機能の共通設定を行います。
ユーザーの個人設定の初期値も設定します。

■転送方法
メールを転送する際に、元のメールを本文に含めるか、ファイルとして添付するかを設定します。

■返信方法
返信の際に、元のメールを引用するかどうかを設定します。

■全員への返信時の宛先
元のメールの宛先を返信時の[宛先]に含めるか、[CC]に含めるかを設定します。

■送信時の本文の自動改行
送信時にメール本文を自動改行するかを設定します。

■送信済みメールの保存
送信したメールを送信トレイに保存するかどうかを設定します。通常は「保存する」を設定します。

■メール宛先の移動
メール作成画面で「宛先」「CC」「BCC」間をドラッグ＆ドロップで移動出来ることを許可します。

■保存期間を超えた受信メールの削除確認
保存期間を過ぎた受信トレイのメールを削除するかどうかの削除確認画面を表示するかを設定します。

■[システム管理]＞[共通設定]

6. ウェブメールIMAPの共通設定を設定する（3/3）

ウェブメールIMAP機能の共通設定を行います。
ユーザーの個人設定の初期値も設定します。

■[システム管理]＞[共通設定]

■フィルタによる自動転送
フィルタ機能によるメールの自動転送を制限します。

■HTMLメールの作成機能
HTMLメールの作成を許可するかを設定します。
許可されていない場合、HTML形式の署名も作成出来ません。

■個人毎のアカウント設定
各ユーザーがメールアカウントを設定できるようにするかを設定します。
制限した場合、一般ユーザーはアカウントの管理ができないため、管理者でしかアカウント管理ができません。

■自動受信間隔
受信しない設定にした場合、受信トレイのメール一覧は自動で更新されません。その場合は受信ボタンを押下して手動で更新する必要があります。

■メール容量の使用率
表示する設定にした場合、ウェブメールIMAP画面の 右上に使用率が表示されます。
※容量設定自体はメールサーバー側で設定してください。
※ご利用のメールサーバーによってはこちらが使用できない場合もあります。

7.誤送信防止機能を設定する（1/2）

■[システム管理]＞[誤送信防止設定]

■メール送信前の確認（確認有無）

メールを送信する直前に、宛先や、内容を確認するための画面を表示するかどうかを設定します。

「すべての入力内容をチェックするまで送信しない」を選ぶと、メール送信前に各項目にチェックボックスが表示されるようになり、全てチェックするまでメールを 送信させないようにすることができます。

・対象とする項目

確認画面にどの項目を表示するかを選びます。

・ホワイトリストに該当するアドレスの扱い

「ウェブメール ＞ システム管理 ＞ 送信先ホワイトリスト設定」で設定されているメールアドレスやドメインをチェックの対象外とすることができます。

・大量アドレスへの送信警告

「件数を5件、警告を表示する」と設定した場合、メールを作成するときに、宛先欄に5件以上のメールアドレスを指定すると、メールの送信確認画面に、赤字でBCCの使用を推奨するメッセージが表示されます。

・個人毎の設定変更

誤送信防止設定を個人ごとに行ってよいかを設定します。

■送信の取り消し

送信の取り消し機能を有効とするかを設定します。 有効とする場合、時間（秒）を指定することで、メール 作成時に送信ボタンを押下した際にその時間内であ ればメールの送信を取り消すことができます。

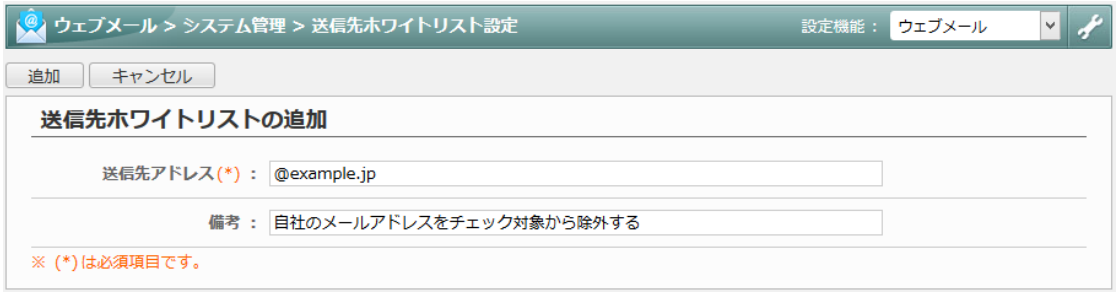
© NEOJAPAN Inc.

7. 誤送信防止機能を設定する（2/2）

■送信先アドレス
メール送信前の確認画面でチェックを免除したアドレスを登録します。

※免除を行う場合は、合わせて、「ウェブメール ＞ システム管理 ＞誤送信防止設定」で[チェックを免除する]を選んでください。

■[システム管理]＞[送信先ホワイトリスト設定]



8. ディレクトリサービス設定を行う

ディレクトリサービスとは、ネットワーク上にあるユーザー情報などの資源と属性を記憶し、検索できるようにしたシステムです。
ディレクトリサービスの設定を行うことで、アドレス帳からディレクトリサービスの情報を検索、メール作成時の宛先に設定することができます。

ActiveDirectoryやOpenLDAPなど利用のディレクトリサービスの情報を設定してください。

■[システム管理]＞[ディレクトリサービス設定]

9. 各ユーザーのメールアカウントを設定する

各ユーザーの個人のメールアカウント設定します。

① 対象ユーザーにチェックし、[利用させる][利用しない]ボタンで、ユーザー個別にウェブメールの利用を制限できます。

② ユーザー名をクリックすると、そのユーザーのアカウント設定画面が表示されます。

※1ユーザーに1アカウントまでの追加となります。

■[機能管理]>[アカウント設定]

■表示名/メールアドレス
表示名とメールアドレスを入力します。

"表示名<メールアドレス>" の形式で、
送信するメールの「送信元」として表示されます。

■受信/送信時のログ
受信、送信時の通信ログを出力します。
ログは本画面にてダウンロードできます。

■受信メールサーバー/送信メールサーバー
IMAPメールサーバーに登録されている
該当アカウントのユーザーIDとパスワードを設定します。

※XOAUTH2認証について
https://faq.desknets.com/--631e9e8b98af07001d25a31e

10. アカウント情報のインポート/ エクスポート

CSVファイルにアカウント情報を出力したり、
アカウント情報を一括登録・変更することができます。

※ウェブメールIMAPのアカウント情報のインポート/エクスポートは機能としてご用意がありません。
ただし、サーバーに「オプションバッチ」をインストールすることで、
コマンドラインでのインポート及び、エクスポートが可能となっております。

■ウェブメールIMAPのメールアカウントのインポートについて[Windows環境]
https://www.desknets.com/neo/help/ja_JP/admin/optionbatch/001.html#set5

[Linux環境]
https://www.desknets.com/neo/help/ja_JP/admin/optionbatch/002.html#set5

■ウェブメールIMAPのメールアカウントのエクスポートについ [Windows環境]
https://www.desknets.com/neo/help/ja_JP/admin/optionbatch/001.html#set6

[Linux環境]
https://www.desknets.com/neo/help/ja_JP/admin/optionbatch/002.html#set6

© NEOJAPAN Inc.